

自己評価総括表

重点目標	具体的な取り組み	数値目標	評価
<p>① 自ら学ぶ子 「主体的に考え、協働的に学び、新たな知の創造を目指す子」の育成</p>	<p>教師主導の一斉授業から、学習者主体の学びへの変換を図る。 PCタブレットやICT機器を積極的に有効活用し、子どもたちの主体的な学び、個別最適な学びや協働的な学びを構築していく。 すべての学習の基礎となる「読む力」を育てる授業について研究する。(研究教科:国語科)</p>	<p>「毎日の授業で、話し合いなどに進んで参加している」と答える児童を80%以上にする。 「毎日の授業がよく分かる」と答える児童を80%以上にする。 標準学力調査で、「読む」の評価が目標値を上回る児童を70%以上にする。</p>	<p>B</p>
<p>② はげまし合う子 「学級作り、学校作りに主体的に参画し、様々な人と協働できる子」の育成</p>	<p>一人一人の役割や活動、活躍を見える化し、児童が主体的に学級づくり・学校作りに参画できるようにする。(居場所作り) 縦割り班活動や委員会活動の活性化を図り、高学年を中心に、助け合いはげまし合いながら一生懸命やり抜く活動を促すことで、互いの価値を尊重しながら多様な他者と協働する力を育む。(絆作り)</p>	<p>「より良い学級・学校になるように、自ら進んで考え行動した」と答える児童を80%以上にする。 「学級が楽しい」と答える児童を100%にする。 「みんなで何かをするのは楽しい」と答える児童を80%以上にする。</p>	<p>A</p>
<p>③ 元気な子 「心と体の健康を守る方法を考え、実践する子」の育成</p>	<p>心 の 健 康  ポジティブ教育やレジリエンス教育を取り入れ、一人一人の児童が自分の良さや可能性を認識できるようにするとともに、あらゆる他者を価値ある存在と認められるようにする。 スマートルールや情報モラルについての学習を強化し、家庭と連携して、実践できる力を育む。</p>	<p>「自分にも他の人にも良いところがある」と答える児童を80%以上にする。 「スマートルールや情報モラルを知り、実践した」と答える児童を80%以上にする。</p>	<p>A</p>
<p>④ 体の健康</p>	<p>体の健康  行間体育や体育的行事に向けて、目標を持って取り組めるようにする。 コロナ禍における安全対策を徹底する。 歯と口の健康の充実を図る。</p>	<p>「行間体育や体育的行事に向けて、目標を持って取り組めた」と答える児童を90%以上にする。 「コロナ禍における安全対策を徹底できた」と答える教職員を100%にする。 歯の治療完治率を100%にする。</p>	<p>B</p>